

第4章 経営戦略の検証等

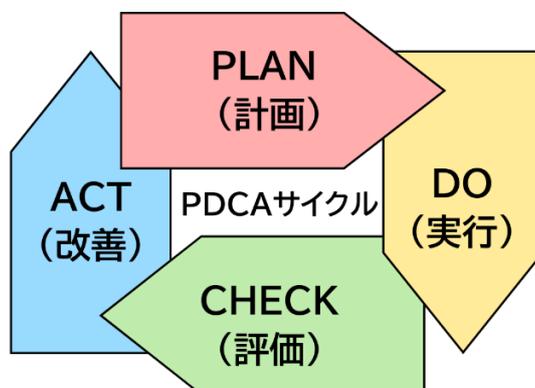
1 経営戦略の検証と公表

経営戦略はPDCAサイクル*における計画(Plan)に位置付けられます。今後は日上市企業局において、実行(Do)、検証(Check)、改善(Action)等のPDCAサイクルを確実に実施した上で、おむね5年ごとに計画を見直し、公表します。

検証においては、経営比較分析表を毎年度作成し、経営指標を用いた経営分析や類似団体との比較分析を行います。

また、日上市上下水道事業経営審議会へ定期的に経営状況や計画の取組状況について報告し、意見を求める等、チェック機能の充実を図ります。これらのPDCAサイクルにより経営状況を的確に把握し、経営の健全化及び効率化に取り組んでいきます。

■PDCAサイクルイメージ



第5章 用語解説

用語	フリガナ	解説
ア行		
一般会計からの繰入金	イッパンカイケイカラノクリレキン	一般会計から上下水道事業会計へ支出する繰出金で、公営企業会計*から見ると繰入金であり、その財源は主に税金である。
ウォーターPPP	ウォーターピーピー	水道、工業用水道、下水道などの水道分野を対象とした官民連携方式で、コンセッション(公共施設等運営事業)方式と、「管理・更新一体マネジメント方式」を併せた総称のこと。
応急給水	オウキュウキユウスイ	地震や濁水などの非常時に家庭で水道水が出なくなった場合に、給水車や給水タンクを使用して、支所、小・中学校等で市民に対し臨時に給水を行うこと。
汚水処理費	オスイショリヒ	汚水の処理にかかる維持管理費と資本費(企業債等利息及び減価償却費)の総称
汚水処理原価	オスイショリゲンカ	有収水量1m ³ あたりに要した汚水処理費用を示す指標
汚水処理施設の最適化	オスイショリシセツノサイテキカ	公共下水道、集落排水、浄化槽等の各種汚水処理施設の中から、最適な施設を選択して整備すること。
カ行		
改築	カイチク	既存施設の老朽化等により施設の全部または一部(修繕に該当するものを除く)の再建設あるいは取替えを行うこと。
可とう化	カトウカ	地震等による変位に対応するために、マンホールと下水道管の接続部分に伸縮性を持たせること。
簡易水道事業	カンイスイドウジギョウ	主に小規模な地域を対象として、給水人口が101人以上5,000人以下の給水人口に対して水道水を供給する事業のこと。
管渠	カンキョ	下水(汚水や雨水)を流すための管のこと。
管渠改善率	カンキョカイゼンリツ	過去一定期間に改築や更生などの改善が行われた管渠延長の割合を示す指標
管渠老朽化率	カンキョロウキュウカリツ	布設後の経過年数が耐用年数を超過した管渠延長の割合を示す指標
管路経年化率	カンロケイネンカリツ	法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表し、管路老朽化の度合いを示す指標。明確な数値基準はないが、経年比較や

用語	フリガナ	解説
		類似団体との比較から適切な水準を検討する必要がある。一般的に高い数値は老朽化が進んでいることを示し、管路の更新等による対応の必要性が示唆される。
管路更新率	カンロコウシンリツ	当該年度に更新した管路延長の割合を表し、管路更新のペースや状況を把握できる。仮に1%の場合は全管路の更新に100年かかる計算となる。更新ペースが著しく低い場合には、投資計画の見直し等の対応が求められる。
基幹施設	キカンシセツ	浄水場や配水池といった、地震などの災害により破損すると、市民生活に重大な影響をもたらす可能性がある施設
企業会計(方式)	キギョウカイケイ(ホウシキ)	現金の動きやその残高のみではなく、債権債務の発生の事実に基づいて経理し(発生主義)、その年度の事業活動に係るもの(収益的収支)と翌年度以降の事業活動の基になるもの(資本的収支)とに区分して経理することにより、経営成績や財政状態を明らかにする会計方式
企業債	キギョウサイ	地方公営企業が行う建設改良事業等に要する資金に充てるために起こす地方債のこと。
企業債元金償還金	キギョウサイガンキンショウカンキン	企業債の返済に充てる元金部分の支出のこと。資本的収支に分類される。
企業債残高対事業規模比率	キギョウサイザンダカタイジギョウキボヒリツ	使用料収入に対する企業債残高(一般会計負担分を除く。)の割合で、企業債残高の規模を表す指標
企業債残高対給水収益比率	キギョウサイザンダカタイキュウスイシュウエキヒリツ	給水収益に対する企業債残高の割合で、企業債残高の規模を表す指標
基準外繰入れ	キジュンガイクリイレ	一般会計からの繰入金うち、総務省の定める基準に基づかないもの。
基本料金	キホンリョウキン	水道料金のうち、水道メーターの口径ごとに定額で掛る料金
基本使用料	キホンシヨウリョウ	下水道使用料のうち、定額で掛る使用料金
給水管	キュウスイカン	配水管から分岐して、個々の使用者の使用場所(私有地)に引き込むための水道管のこと。個人が布設し、維持・管理する給水装置の一部である。
給水区域	キュウスイクイキ	水道事業者が厚生労働大臣の認可を受け、一般の需要に応じて給水サービスを行うとした区域

用語	フリガナ	解説
給水原価	キュウスイゲンカ	有収水量1㎡当たりの給水に掛る費用
給水収益	キュウスイシューエキ	水道事業会計における営業収益の一つで、水道事業収益のうち、最も重要な位置を占める収益(水道料金収入)
給水人口	キュウスイジンコウ	給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口
給水装置	キュウスイソウチ	配水管などから分岐して設けられた給水管、止水栓、量水器(水道メーター)及び給水栓(蛇口)などの総称
給水量	キュウスイリョウ	給水区域内の需要に応じて給水した水量の総計
共同化	キョウドウカ	複数自治体で共同使用する施設の建設や事務の一部を共同して管理及び執行すること。
供用開始	キョウヨウカイシ	上下水道の整備により、多くの人が使用可能になること。
繰出基準	クリダシキジユン	一般会計が負担すべき経費を一般会計から繰り出す際の基準。総務省より毎年公表される。
経常収支比率	ケイジョウシュウシヒリツ	料金収入、一般会計繰入金等の収益で、経常的な費用がどの程度賄われているかを示す指標
経年化浄水施設率	ケイネンカジョウスイシセツリツ	水道施設の更新状況を示す指標。全浄水施設能力に占める法定耐用年数を超えた浄水施設の割合を示す指標
経費回収率	ケイヒカイシュウリツ	汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す指標。汚水処理に係る全ての費用を使用料によって賄うことが原則である。
下水道処理区域	ゲスイドウショリクイキ	排除された下水を終末処理場により処理することができる区域
減価償却費	ゲンカショウキャクヒ	固定資産の減価を費用として毎年計上する処理を減価償却といい、この処理により毎年計上される固定資産の減価額
建設改良費	ケンセツカイリョウヒ	固定資産の新規取得又は増改築等に要する経費
経営比較分析表	ケイエイヒカクブンセキヒョウ	公営企業の経営状況を同種事業間で比較できるよう、総務省が毎年度公表する分析資料。経営戦略や料金改定の基礎資料として活用される。
公共下水道事業	コウキョウゲスイドウジギョウ	主として市街地における下水を排除し又は処理するために地方公共団体が管理する下水道
広域化	コウイキカ	複数の事業体による行政界に捉われない上下水道事業経営の在り方。事業統合や共同経営、管理の一体化等の多様な形

用語	フリガナ	解説
		態があり、広域化により効率性やサービスの質の向上を図るもの。
広域連携	コウイキレンケイ	複数の地方公共団体が、水道・下水道などの公営企業の運営や施設整備について連携し、効率化や経営基盤強化を図る取組のこと。
公営企業会計	コウエイキギヨウカイケイ	病院や水道事業等地方公共団体が運営している公営企業が取り入れている複式簿記の会計処理
公営企業管理者	コウエイキギヨウカンリシャ	地方公営企業法に基づき、公営企業の経理・予算・事業運営などの権限を持つ執行機関
更新	コウシン	老朽化した施設や設備を取り替え、同等の機能を有する新たな資産に置き換えること。
国立社会保障・人口問題研究所	コクリツシャカイホショウジンコウモンダイケンキュウシヨ	日本の将来人口推計や世帯推計を公表する国の研究機関
サ行		
財源試算	ザイゲンシサン	「経営戦略」の中心となる「投資・財政計画」の構成要素のうち、財源の見通しを試算したもの。
資金不足	シキンブソク	事業規模に対して、必要な資金が不足している状況のこと。
施設利用率	シセツリヨウリツ	施設の処理能力に対して、実際どれくらい稼働しているのを見る指標
資本的収支	シホンテキシユウシ	公営企業の将来の経営活動に備えておこなう建設改良及び建設改良に係る企業債償還金などの支出と、その財源となる収入
収益的収支	シュウエキテキシユウシ	水道事業・下水道事業の経営活動に伴って発生する収益と費用
従量制	ジュウリョウセイ	使用水量に応じて使用料を算定する料金体系のこと。
従量料金	ジュウリョウリョウキン	水道料金のうち、水の使用量に応じた料金。使用水量が多くなるに従い高くなる(逡増制)。
受益者負担金	ジュエキシャフタンキン	下水道管が引かれ利用可能となった地域の土地所有者が、下水道工事費の一部として負担する費用
取水(施設)	シュスイ(シセツ)	水源から原水を取ること(取る施設)。
純損益	ジュンソンエキ	法適用企業において、総収益から費用を差引いた額。純損益の数値がプラスなら「純利益」、マイナスなら「純損失」と呼び、地方公営企業決算では、それぞれを黒字、赤字と呼ぶ。

用語	フリガナ	解説
浄水場(施設)	ジョウスイジョウ(シセツ)	原水を飲用に適するように処理する施設
除害施設	ジョガイシセツ	工場、事業場からの排水を条例で定める基準に適合させるための施設
処理区域内人口	ショリクイキナイジンコウ	下水道処理区域に居住し、下水道を利用可能な人口のこと。
処理場	ショリジョウ	下水を最終的に処理して公共用水域に放流するために設けられた施設で、下水道法で定められている終末処理場
新水道ビジョン	シンスイドウビジョン	平成 16年6月に厚生労働省が策定した「水道ビジョン」を全面的に見直し、50年後、100年後を見据えた将来像と施策・工程を示すものとして、平成 25年3月に厚生労働省が策定した計画
水源	スイゲン	河川、ダム湖、井戸水などの水道として利用する水の供給源のこと。
水質基準項目	スイシツキジュンコウモク	水道法第4条に基づく水質基準項目 水道水の水質基準に適合すべき水質項目
水質検査	スイシツケンサ	水質基準項目を踏まえた検査。水道法により、水道事業者等に検査の義務が課されている。
水洗化	スイセンカ	下水道整備済み区域内で実際に下水道へ接続すること。
水洗化人口／水洗化率	スイセンカジンコウ／スイセンカリツ	下水道が整備されている区域内で、実際に水洗便所へ切り替えられている人口又はその割合
ストックマネジメント	ストックマネジメント	持続可能な下水道事業の実施を図るため、明確な目標を定め膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、中長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理する手法
専用栓	センヨウセン	1戸又は1か所の専用に供するもの。ただし、特別な用途又は臨時に給水するものを除く。
送水(施設・管)	ソウスイ(シセツ・カン)	水道水を浄水場から配水施設(配水池)へ水を送ること(送る施設・送る管)。
装置産業	ソウチサンギョウ	大型の設備・装置を必要とする産業形態
損益勘定留保資金	ソンエキカンジョウリュウホシキン	現金支出を伴わない減価償却費や資産減耗費等、企業内部に留保される資金のこと。
夕行		
耐震化、地震対策	タイシンカ、ジシンタイサク	地震による影響を最小限にするための各種対策のこと。

用語	フリガナ	解説
耐震化率	タイシンカリツ	全ての施設(水道施設又は下水道施設)に占める、耐震化済みの施設の割合。管路(管渠)と、施設(浄水場等又は下水処理場等)に分けて算出する。
耐震継手	タイシンツギテ	地震の時、地面がずれたり割れたりした場合、継手部分で伸び縮みし、抜けたり破損したりしないようにする継手のこと。
耐用年数	タイヨウネン スウ	減価償却資産(管材、施設等)が利用に耐えうる年数。地方公営企業法において、種類、構造、用途ごとに有形固定資産の法定耐用年数が定められている。
ダウンサイジング	ダウンサイジ ング	人口減少や節水機器の普及に伴い、施設更新の際に施設能力を縮小し、施設の効率化を図ること。
ダクティル 鋳鉄 管	ダクティルチ ュウテツカン	鋳鉄に含まれる黒鉛を球状化させ、普通鋳鉄管や高級鋳鉄管に比べ、強度に富んだ水道用管。施工性が良好であるため、現在水道用管として広く用いられているが、重量が比較的重い。
超過使用料	チョウカシヨ ウリョウ	下水道使用料のうち、本市では1か月11m ³ 以上使用した場合に掛る使用料金。使用水量が多くなるに従い高くなる(逓増制)。
長期前受金戻入	チョウキマエ ウケキンモド シレ	固定資産取得のために交付された補助金などについて、減価償却見合い分を収益化したもの。
長寿命化	チョウジュミヨ ウカ	既存施設の劣化進行を抑え、耐用年数を延ばして長期間安全に利用できるようにする取組
長寿命化対策	チョウジュミヨ ウカタイサク	上下水道施設を、法定耐用年数を超えて供用するための対策、取組
デマンドレスポンス	デマンドレス ポンス	電力需給の逼迫や電力料金の変動に応じて、需要側が電力使用量を調整する仕組みを指す。上下水道事業においては、浄水場・ポンプ場・下水処理場などの電力消費が大きい施設を対象に、運転時間の調整や負荷の平準化を行うことで、電力コストの削減やエネルギー効率の向上を図る取り組みとして活用される。
投資試算	トウシシサン	「経営戦略」の中心となる「投資・財政計画」の構成要素のうち、施設・設備に関する投資の見通しを試算したもの。
導水(施設・管)	ドウスイ(シセ ツ・カン)	取水した水を浄水場へ送ること(送る施設・送る管)。
特別計量栓	トクベツケイリ ヨウセン	噴水、泉池、滝、臨時興業、臨時売店、工場現場等の用に使用する場合に適用される水道料金体系
独立採算	ドクリツサイサン	上下水道事業は、「独立採算制の原則」に基づいた事業運営を行う必要があり、一般会計において負担すべき経費を除

用語	フリガナ	解説
		いた部分については、企業経営に伴う収入によって支出を賄うこと。
独立採算制	ドクリツサイサンセイ	税金や繰入金に依存せず、使用料収入で事業運営を行う公営企業の原則のこと。
調定(件数)	チョウテイ(ケンスウ)	個々の使用者に対するそれぞれの料金を確定する行為を指す。また、その件数のこと。
ナ行		
那珂久慈流域下水道	ナカクジリュウイキゲスイドウ	本市の一部、水戸市の一部、常陸太田市の一部、ひたちなか市の一部、常陸大宮市、那珂市、大洗町、城里町の一部、茨城町、東海村の10市町村を対象とした下水道事業
ハ行		
配水(施設・管)	ハイスイ(シセツ・カン)	水道水を需要者に配ること(配る施設・配る管)。
配水池	ハイスイチ	浄水処理された水道水を貯留し、管路網を通して給配水するための拠点施設
配水量	ハイスイリョウ	配水施設から需要者宅まで送り出された水の総量
配水用ポリエチレン管	ハイスイヨウポリエチレンカン	耐腐食性や柔軟性に優れたポリエチレン製の管で、配水管として使用されている。
普及率	フキュウリツ	水道:給水区域内人口に対する現状の給水人口の割合であり、水道の普及状況を示す。下水道:行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合であり、下水道の普及状況を示す。
不明水	フメイスイ	地下水や雨水などが老朽化した下水道管渠の隙間から流入したもの。
分流式	ブンリュウシキ	汚水と雨水を別々の管渠系統で排除する方式のこと。
平準化	ハイジュンカ	給水量や電力使用量、施設稼働負荷などの変動を抑え、運転効率の向上やコスト削減、設備の長寿命化を図ること。
法適用・非適用区分	ホウテキヨウ・ヒテキヨウクブン	ここでは、水道事業、下水道事業の運営主体が、地方公営企業法の適用を受けているかを区分するもの。
マ行		
マンホールトイレ	マンホールトイレ	下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するもの。
未処分利益剰余金	ミショブンリエキジョウヨキン	用途が決まっていない利益剰余金。利益剰余金とは、資本金の額を超過した部分を意味するものであり、営業活動によって獲得した利益を利益剰余金と呼び、資本金に属するもの

用語	フリガナ	解説
		外の資本取引によって事業内に留保されたものを資本剰余金と呼ぶ。
水安全計画	ミズアンゼンケイカク	水源から給水栓に至る各段階で、水道水質に悪影響を与える危害の早期発見を行い、安全な水の供給を確実に実施するための計画
水需要	ミズジュヨウ	水道水の使用水量見込み、汚水の処理水量見込みのこと。
民間活用	ミンカンカツヨウ	委託等の方法により民間が有するノウハウ及び資金を活用すること。
ヤ行		
有収水量	ユウシュウスイリョウ	水道料金・下水道使用料徴収の対象となった水量の総計
有収率	ユウシュウリツ	水道：有収水量を給水量で除したもの。給水量のうち、料金収入となった割合。下水道：有収水量を排水量で除したもの。処理水量のうち、使用料収入となった割合
有収水量密度	ユウシュウスイリョウミツド	給水区域面積1haあたりの有収水量を示す指標 経営の効率性を示す指標として用いられる。
湯屋栓	ユヤセン	湯屋営業に使用する場合に適用される水道料金体系
予防保全型維持管理	ヨボウホゼンガタイジカンリ	コストの平準化や縮減を図るために、施設や管路、管渠の損傷や劣化が進行する前に、補修を行う維持管理手法
ラ行		
ライフサイクルコスト	ライフサイクルコスト	初期費用のみでなく維持管理・修繕・解体・処分までの構築物の生涯にわたるコストのこと。
流域下水道	リュウイキゲスイドウ	複数の市町村の下水を処理するための広域的下水道。本市では、県的那珂久慈流域下水道に接続している。
料金回収率	リョウキンカイシュウリツ	供給単価を給水原価で除した割合。給水に係る費用が、どの程度給水収益でまかなえているかを表す指標
類似団体	ルイジダンタイ	国が地方公営企業の比較に当たり、人口規模や事業形態等を基にグループ分けしたもの。 本市の類似団体 水道事業：給水人口規模 15 万人以上、30 万人未満 下水道事業：処理区域内人口区分 10 万人以上、処理区域内人口密度区分 50 人/ha 未満
漏水	ロウスイ	水道管が様々な要因によって損傷し、水が漏れ出すこと。地上に漏れ出す地上漏水と、地下に浸透する地下漏水がある。
その他 (英字・記号)		

用語	フリガナ	解説
BCP	ビーシーピー	Business Continuity Plan、事業業務継続計画。災害や事故などの発生時の事業継続、早期復旧のための計画
CIP	シーアイピー	鑄鉄管の継手方式の一つで、ゴム輪を用いた押し込み式の接合構造を指す。
GX形ダクタイル鑄鉄管	ジーエックスガタダクタイルチュウテツカン	耐震性能を高めたダクタイル鑄鉄管
Logoフォーム	ロゴフォーム	データや情報を整理・入力する際に用いられる、統一的なレイアウトや構造を持つ標準化された入力フォーム。項目名や入力形式があらかじめ定められているため、複数の担当者や組織が扱うデータを一貫した形式で収集・管理することができる。
NS形ダクタイル鑄鉄管	エヌエスガタダクタイルチュウテツカン	標準的な継手構造を有する一般的なダクタイル鑄鉄管
PDCAサイクル	ピーディーシーエーサイクル	計画(plan)、実行(do)、評価(check)、改善(action)を繰り返し、業務を継続的に改善する手法
PPP	ピーピーピー	Public Private Partnership、公民が連携して公共サービスの提供を行うスキーム(仕組み)
PFI	ピーエフアイ	Private Finance Initiative、公共施設等の設計・建設・維持管理・運営に民間資金とノウハウを活用する方式
VP	バイピー	塩化ビニル管を表す記号。Vinyl Chloride Pipeの頭文字
pH	パーハ	水溶液の性質(酸性、アルカリ性の程度)を表す単位